

## 第14回

# 海外勤務者の健康対策フォーラム ～海外勤務者の海外での健康管理～

# アンケート集計結果（第一報）

---



2025.02.05

# アンケートの目的・概況

---

## □ 目的

「海外担当産業医」の必要性を中心に、以下8項目をフォーラム参加者に問い、概況を関係者で共有する

- ① 海外担当産業医の必要性
- ② 海外担当産業医が必要と感じる項目
- ③ (株)トラメディックに希望すること
- ④ 海外の医療機関に要望したいこと
- ⑤ 海外赴任者の健康管理で困っていること
- ⑥ 自社の海外赴任者の駐在国で困っている地域
- ⑦ 今後フォーラムで取り上げてほしいトピックス
- ⑧ 西新橋クリニック、(株)トラメディックの活動で興味のある事項

## □ 概況

- 2025年2月5日にフォーラム参加者に配布
- A4:1枚、自記式
- フォーラム終了時に回収

# アンケートの回収・集計

---

## □ 回収

- 回答者数： 84名

- うち記名なし 4名

→ いずれも、記名がない以外は回答に記入もれがなかったため、有効回答として扱った

## □ 集計

- 回答は個人単位で集計
- 自由回答はなるべく原文のまま記載し、類似するものをまとめて提示
- 記名のなかった4名は、①の集計の際、職種は「その他」とした

# ① 海外担当産業医の必要性

- 「海外担当産業医」は必要との回答が大多数(63名/84名、75%)でした。
  - 職種別の回答分布:いずれも7割以上が「必要」との回答でしたが、73.5%から83.3%まで幅がありました。

## ①海外担当産業医の必要性

	総数	%
1 必要	63	75.0
2 必要ない	6	7.1
3 どちらでもない	14	16.7
99 回答なし	1	1.2
計	84	100.0

## ● 「必要」と答えた方の職業別の割合

	総数	「必要」	%
1 医師	14	10	71.4
2 看護師	6	5	83.3
3 保健師	30	23	76.7
4 その他	34	25	73.5
計	84	63	75.0

## ①海外担当産業医 コメント

3 特別に枠を作ってやる形がいいのか、組織の中の位置づけは考える必要があるように思います。

## ② 海外担当産業医が必要と感じる項目(その1)

- 「派遣中の健康問題」に関しては、「海外担当産業医が必要」と回答した者にとって、「派遣中の健康問題」が最も必要と感じる項目との結果でした(84%)。
  - いずれの職種でも必要との回答が8割以上みられました。
- 医師は「健康管理システムの構築」や「派遣可否の判定」等、より多くの項目を必要と感じている傾向がみられました。

②海外担当産業医 必要と感じる項目

	総数	1健康管理システムの構築		2ワクチンリスト、マニュアルの作成		3派遣可否の判定		4継続医療者の対応		5赴任前ガイダンス		6派遣中健診の判定		7派遣中健康問題		8巡回健康相談	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
1 医師	10	7	70.0	6	60.0	8	80.0	5	50.0	6	60.0	5	50.0	9	90.0	4	40.0
2 看護師	5	3	60.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	2	40.0	4	80.0	2	40.0
3 保健師	23	16	69.6	18	78.3	15	65.2	16	69.6	7	30.4	12	52.2	20	87.0	8	34.8
4 その他	25	16	64.0	12	48.0	16	64.0	10	40.0	6	24.0	8	32.0	20	80.0	9	36.0
計	63	42	66.7	38	60.3	41	65.1	33	52.4	21	33.3	27	42.9	53	84.1	23	36.5

オレンジ色 70%以上      水色 40%未満

## ② 海外担当産業医が必要と感じる項目(その2)

---

- 「その他」として寄せられたコメントは以下のとおり(回答者数:8名)
  - 病状と現地医療の実情を考慮しての(一時帰国など)緊急性、タイミングの判断
  - 赴任前の個別ガイダンス(配偶者へも)
  - 持病があつて赴任している方も多くいるため、赴任中の対応や現地医療事情の説明など赴任前に相談に乗れるとよい
  - 看護職としても必要と感じる
  - 国内の従業員への対応で手一杯な現状があるも、知識等、より専門的な分野となるため担当医がいると心強いと思います。
  - 派遣中の就業配慮対応(迅速な)
  - 弊社では現在常勤の産業医が少ない状況のため「海外担当産業医」はおいていないが、海外勤務者への対応に特化した産業医がいればさらに良いサポートを出来るのではないかと思う。
  - 産業医でなくてはならない場面と医療職スタッフでよい側面があるとは思っています。私の会社の場合、可否判断、休職復職面談以外は保健師が行っています。

## ③トラメディックに希望すること

---

- 計84名中、
  - 「はい」と回答 20名（うちコメントありは19名）
  - 「いいえ」と回答 46名（うちコメントありは4名）
  - いずれも選択なし 18名（うちコメントありは6名）
- 「はい」の回答抜粋
  - 出国前、一時帰国時の受診、精査などのコーディネート
  - 病態に応じた受診医療機関紹介と診療情報提供
  - 帯同家族の健康情報、安全配慮義務、個人情報...
  - 各国の医療機関情報のみえる化、定期的な情報発信
  - 健診結果の翻訳などのサービス
  - 派遣中の健康問題対応の仲介

## ④海外の医療機関への要望

---

- 計84名中、
  - 「はい」と回答 22名（うちコメントありは22名全員）
  - 「いいえ」と回答 47名（うちコメントありは1名のみ）
  - いずれも選択なし 15名（うちコメントありは4名のみ）
- 「はい」の回答抜粋
  - 病院の紹介資料提供
  - 医療通訳の充実
  - 慢性疾患の継続治療
  - 治療、帰国を判断するために必要な医療情報
  - 日本人向け健康診断の実施
  - 受診時の日本語サポート
  - 日本語訳された健診結果

## ⑤ 海外赴任者の健康管理で困りごと

---

- 計84名中、
  - 「ある」と回答 47名(うちコメントありは47名全員)
  - 「ない」と回答 23名(うちコメントありは3名のみ)
  - いずれも選択なし 14名(うちコメントありは8名のみ)
- 「ある」の回答抜粋
  - 赴任中の健診受診率、結果提出の管理
  - 帯同家族の健康管理が不十分
  - 派遣可否判断
  - 赴任国によって指定医療機関での健診が必要
  - 労働時間管理
  - メンタルヘルスへの対応
  - 二次検査、精密検査の対応

## ⑥ 駐在国で困っている地域

---

- 計84名中、
- 「ある」と回答 28名(うちコメントありは28名全員)
- 「ない」と回答 38名(うちコメントありは1名のみ)
- いずれも選択なし 18名(うちコメントありは5名のみ)
- 「ある」の回答抜粋
  - 医療情報の乏しい国
  - 日本式の健診が受けられる機関がない国がある
  - モンゴル、ベトナム(ボンソン)、フィリピン、中国、インド(グジャラート)、インドネシア、バングラデシュ、中東エリア、イスタンブール、パキスタン、ナイジェリア、ケニア、アフリカの各国、ヨーロッパ(オランダ)、イタリア(ミラノ)アメリカ、ブラジル(ペトロリーナ)、ウルグアイ、ロシア、大洋州

## ⑦ 今後取り上げて欲しいトピックス

---

- 計84名中、
  - コメントあり:23名    なし:61名
- 回答抜粋
  - 赴任前に行っておくべき指導や情報共有(医療関係)
  - 赴任中の健康管理について会社としてできること
  - 健診受診100%達成の方法について
  - 海外の医療機関の情報
  - 海外赴任者のメンタルヘルス
  - 帯同家族への対応
  - 他社がどこまでやっているかなどの紹介"
  - 海外からの航空搬送について
  - 海外健康管理のモデルケースとなる企業の紹介

# ⑧西新橋クリニック・トラメディックの活動のうち興味のある事項

(有効回答 84名中)	1海外担当 産業医	2国内健康診断・ 予防接種の コーディネート	3赴任面談と 渡航判定	4海外医療機関 への 受診サポート	5海外健診 コーディネート	6海外健診結果の 回収・判定・報告	7赴任前セミナー への 講師派遣	8その他
チェックした 人数	22	29	12	31	18	17	8	6